

# 平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

## 第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Kコート 第1試合 本庄市児玉総合公園体育館(エコーピア)

チームA		13 - 17 9 - 15 21 - 15 18 - 23	70	チームB
<b>札幌創成</b>	<b>61</b>			<b>山村学園</b>
北海道				埼玉

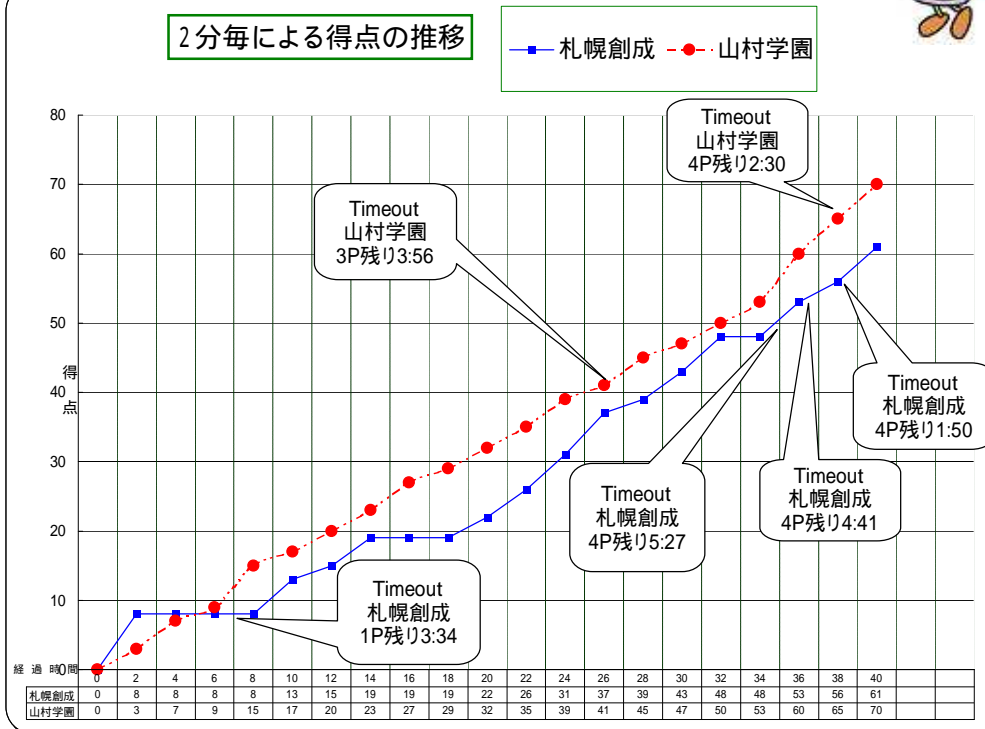
### 札幌創成

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	藤田 紗彩	X	0	0	2	0	0	0	0	1	1	1	2	1	1	0	6
5	岩井 萌	X	11	2	5	2	6	1	2	0	1	5	4	1	3	4	35
6	岩木 瑞季	X	3	1	5	0	4	0	0	5	0	3	1	1	0	0	27
7	吉野 瑞希	X	15	0	1	6	13	3	5	2	4	8	6	4	4	2	36
8	田中美穂	X	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	7
9	立田 怜	X	19	3	6	4	11	2	4	3	2	3	4	3	1	1	40
10	山口 詩央里	X	9	1	2	3	9	0	0	0	1	1	0	2	2	0	21
11	上坊寺 莉佳	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
12	阿部 真奈美	X	4	0	0	2	3	0	0	3	1	2	3	1	0	1	22
13	齋藤 ひかり	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
14	江口 里沙	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	池田 麻優	X	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
コーチ	三上 淳									0	6	0					
出場: ×は先発、/は出場			61	7	22	17	49	6	11	14	16	25	23	14	11	8	200
確率			31.8%			34.7%				54.5%							計 41

### 山村学園

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	所 奈美	X	14	1	7	5	8	1	2	5	5	4	7	3	0	1	30
5	黒白 なつみ	X	8	1	5	1	7	3	4	2	1	8	2	0	1	1	38
6	小栗 千明	X	1	0	1	0	2	1	2	0	0	0	4	2	0	0	8
7	谷田 菜摘	X	7	0	1	3	4	1	1	0	1	1	3	2	0	0	14
8	石井 史織	X	3	1	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	9
9	梅澤 奈歩	X	10	0	0	5	10	0	0	2	6	4	1	6	0	0	40
10	柳田 育美	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	三上 千穂	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	8
12	富田 アキコ	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	大橋 実奈	X	13	1	2	5	9	0	0	5	1	7	4	2	0	0	28
14	佐藤 美貴	X	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
15	長谷川 蘭世	X	14	0	1	5	15	4	6	2	2	3	0	1	0	0	22
コーチ	下田 宏吉									0	5	5					
出場: ×は先発、/は出場			70	4	20	24	56	10	15	17	22	36	24	16	1	2	200
確率			20.0%			42.9%				66.7%							計 58

### 2分毎による得点の推移



### 戦評

インターハイ2回目の出場となる札幌創成は全国大会1勝を目指す。対する山村学園は#4所、#5黒白を中心に地元埼玉の応援を背に持ち前の走るバスケットを展開したい。第1P、互いにハーフコートマンツーマンでスタートするが、両チームともに堅さが目立ちターンオーバーが目立つ。そんな中、札幌創成#9立田の3Pから試合が動き出す。序盤は札幌創成が#6岩木の3P、#7吉野のインターセプトなどで優位にすすめる。対する山村学園はバスマスが要所で続き苦しい。6分過ぎ徐々に本来の動きが出てきた山村学園はインサイドやリバウンドを頑張り9対8と逆転する。山村学園4点リードで第1Pが終了。第2P、一歩山村学園が先行し試合は推移する。札幌創成は#9立田のドライブイン、#12阿部のインサイドで詰め寄ろうとするが、山村学園は#13大橋、#9梅沢がゴール下で踏んばり簡単には流れを渡さない。残り1分山村学園#8石井の3Pで32対21とする。第3P、一転このピリオドは札幌創成が勢いを盛り返す。#7吉野のジャンプシュートさらにはカットイン、そして#5岩井のシュートで一気に4点差まで迫る。しかし山村学園は#7谷田、#5黒白のジャンプシュートが苦しいところで決まり、逆転は許さない。第4P、激しい点の取り合いとなるが、山村学園は#4所の3Pがようやく決まり、リズムが良くなる。札幌創成は#9立田#7吉野が縦横に走り得点を重ねるが、山村学園の足を使った厳しい守りを崩すまでには至らない。両チームともに最後まで集中力を切らさず、ひたむきにボールを追う好ゲームは山村学園に軍配があがる。

主審	渡辺 亮	副審	池田 泰介	戦評	原嶋 巡 (埼玉県高体連)
----	------	----	-------	----	---------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット